

事業実績報告書

様式 2
(2020年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-22	講座名	『畜産と環境』
記載日	#####	団体名・企業名	環境カウンセラー岡本明子
〈講座全体の概要〉(300字程度)			
<p>大人の社会科見学、今回のテーマは畜産と環境です。</p> <p>日常的に食べている肉の向こうには、様々な環境が隠れています。家畜の衛生を守り、食肉の安全を担保する仕組みを学びます。生業としての畜産や、CSF（豚コレラ）をはじめとする家畜伝染病対策、野生生物との付き合い方など様々な『考える種』を見つけます。</p> <p>見て、知って、考える。暮らしから行動を起こしていくために、多角的に畜産を見つめます。</p> <p>CSF感染の広がりや対策・影響などの座学、実際に感染症対策をしている家畜保健衛生所、動物検疫所などの関連施設を見学しました。</p> <p>コロナの影響で、日程変更を余儀なくされましたが、皆様のご協力のおかげで、無事、講座を開講できました。感謝！！</p>			
			
※写真 1 の説明		※写真 2 の説明	
9月8日、家畜保健衛生所の見学。		11月17日、動物検疫所野跡の見学。	
〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)			
<p>野生動物と飼養動物の豚とが同じ感染症に脅かされている現状を考えようと企画した講座だったが、人間界の新型コロナ感染症に振り回された講座開催となった。皆様のご協力により、開催日時の変更などで対応、ほぼ予定通りの内容で、開催することができた。</p> <p>ただ、コロナ渦によって、参加者のキャンセルが増加、1桁の参加者での開催となり、関係機関には申し訳ないことをしてしまいました。ゆっくり、十分に話すことができると前向きなお言葉をいただき、恐縮しきりです。</p> <p>動物感染症の侵入・蔓延を防ぐ仕組みを学ぶだけでなく、畜産の現状を学ぶことができ、大変勉強になった。効率的な飼料供給、廃棄物処理などを学んだ。家畜の品種改良やより効率的な酪農経営など、新しい視点をもたくさん勉強させていただいた。</p> <p>関係の皆様、心から感謝いたします。</p>			
〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3~5点、計350字程度)			
<p>普段では見ることのできない施設を見学でき、勉強になった。</p> <p>人の感染症対策も、動物の感検証対策も、基本は同じなのだなと思った。</p> <p>野生イノシシへの豚コレラの感染が、これほど大きな影響を与えるとは思っていなかった。(野生と畜産との相互感染、他の野生生物への影響、清浄国と認められないことによる貿易上の不利益など)</p> <p>いつも、斬新な視点からの講座で、おもしろい。</p>			